

立教188年 春の学生おぢばがえり



式次第

親神様、教祖、祖霊様 礼拝

開会宣言

よろづよ八首奉唱

実行委員長挨拶

真柱様お言葉（メッセージ）

「道の学生の歩み」

（次代を担うようぼくへ）

決意表明

道の学生成人目標唱和

『希望の花』斉唱

閉会宣言

親神様、教祖、祖霊様 礼拝

よろづよ八首

よろづよのせかい一れつみはらせど
むねのわかりたものはない

そのはずやといてきかしたことハない
しらぬがむりでハないわいな

このたびはかみがおもてへあらハれて
なにかいさいをときゝかす

このところやまとのぢばのかみがたと
いうていれどももとしらぬ

このもとをくはしくきいたことならば
いかなものでもこいしなる

きゝたくバたづねくるならいうてきかす
よろづいさいのものとなるを

かみがでゝなにかいさいをとくならば
せかい一れついきむなり

一れつにはやくたすけをいそぐから
せかいのこゝろもいさめかけ

希望の花

作詞 松本春香 作曲 後藤朋子

僕らが出会ったこの親里（ばしよ）で
希望の花が咲き誇る

飛行機雲が浮かぶ青い空 隣には君の輝く笑顔
不安だって風に乗ってどこかへ飛んでいった
僕にできることはきつと

とてもとても小さなことだけど

君がいたから歩き出せた

僕らが出会ったこの親里（ばしよ）は
いつでも明るい太陽（ひかり）がある

だから心は晴れわたる

みんな支えあって生きている

夜空に瞬く星のように

僕にはたくさんの仲間がいる

喜びは分かち合い悲しみは喜びになるんだ

見渡してごらんよほら君の隣に仲間がいるから

みんなで手を取り歩き出そう

僕らが出会ったこの親里（ばしよ）は

未来へ導く風が吹く

迷うことなどきつとない

一緒に掴もう明日への鍵を

僕らが出会ったこの親里（ばしよ）で

希望の花が咲き誇る

色とりどりの花びらが空高くへと舞い上がる

La La La

これから続く旅路への僕らの向かう道しるべ

立教188年 3月 28日（金）

主催：春の学生おぢばがえり実行委員会/天理教学生担当委員会

※式典などで撮影した映像や写真を印刷物及びインターネットを通じた広報に使用することがありますのでご了承ください



立教188年 春の学生おぢばがえりテーマ 心をつなぎ輪になって、喜びあふれる春学

互いに相手を思いやる気持ちを持って心をつなぎ、仲間と喜びを分かち合おう。
そして、仲間と輪になって、どのような時も助け合い、どのようなことも喜べる、
そんな喜びあふれる姿で道の次代を担うようぼくを目指していこう！

道の学生成人目標

一、生かされていることに感謝しよう

私たちのこの身体は、親神様からのかりものです。日常生活の中にある小さな喜びを見つけられる心遣いをし、親神様の絶え間ないお働きによって生かされていることに感謝しましょう。

一、お道の素晴らしさを伝えよう

自分の味わった信仰の喜びを多くの人に伝え、共に陽気ぐらしができるよう、私たちから働きかけていきましょう。そして、挨拶や心配りなど小さなことから実践し、陽気ぐらしののいをかけていきましょう。

一、進んで教会につながろう

月次祭に参拝させてもらうなど、進んで教会に心をつなぎ、お道のご用の上に役立つようぼくとして成人しましょう。また、教会の行事や、青年会・婦人会の行事にも参加し、つながりを増やしましょう。

真柱様のお言葉について

私たち学生が毎日の生活を送る上での指針となります。しっかりと聞かせていただき、一人ひとりが心に治め、歩んでいきましょう。

「次代を担うようぼくへ」

ようぼくとは、陽気ぐらし世界の実現を目指して立ち働く人のことを言います。日々、道の学生成人目標を実践し、今日おぢばに帰り集った私たちから、陽気ぐらしに向かって、次代を担うようぼくへと成人しましょう。

実行委員長



ひろおか そう
氏名：廣岡 颯
学年：大学3年
直属：郡山
教区：北海道

決意表明



たけだ なおや
氏名：武田直也
学年：大学2年
直属：堺
教区：奈良

道の学生の歩み ～次代を担うようぼくへ～



やた みほ
氏名：矢田美歩
学年：大学4年
直属：鹿島
教区：石川



あらい はるき
氏名：荒井陽喜
学年：大学1年
直属：浅草
教区：埼玉